



## 立教未来計画

人と世界と未来のために、立教ができること。

.....立教学院創立135周年記念プロジェクト.....

## 立教学院創立135周年記念公開シンポジウム

主催：立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科

共催：早稲田大学ジャーナリズム教育研究所

2009年6月25日(木) 18:30~21:00

立教大学池袋キャンパス8号館 8202教室

# 海外からの視点~いまニッポンのナショナリズムを問う

## <中国、米国人ドキュメンタリー映画監督たちは語る>

経済不況の進む中、日本人の関心はますます内向きとなり、外に開かれた意識を自ら閉じつつある。普遍的な思想への志向性を失った日本の孤立化は避けられず、偏狭なナショナリズムの台頭すら予感させている。そのような日本の姿を外から照射したらどう見えるのだろうか。日本軍「慰安婦」、「日本国憲法」、「靖国神社」などをテーマとしたドキュメンタリー制作を通じて、日本のナショナリズムを形成する思想的土壌を掘り下げてきた3人の外国人監督たちを招き、現在の日本の思想状況の検証を試みる。

講師兼：班 忠義 (バン・チュンイ) 氏 / 作家・映画監督  
パネリスト ジャン・ユンカーマン氏 / 映画監督  
李 纓 (リ・イン) 氏 / 映画監督

コメンテーター：カプリオ,M (立教大学21世紀社会デザイン研究科教授)

司会：野中 章弘 (立教大学21世紀社会デザイン研究科教授)

対象：立教大学学生、教職員、校友、一般市民

受講：無料

申込：不要

お問合せ：立教大学独立研究科事務室 TEL03-3985-4530  
(〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1)

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科は社会組織、危機管理、NPO活動をテーマとした日本初の社会人のための昼夜開講制の博士課程前期・後期課程からなる大学院です。

## 講師略歴： 班忠義（バン・チュンイ）氏／作家・映画監督

1987 年来日。1992 年、中国残留日本人婦人の人生を描いた、『曾おばさんの海』で第7回朝日ジャーナル・ノンフィクション大賞受賞。1996 年『近くて遠い祖国』を出版。2000 年、映画「チョンおばさんのクニ」を日本、台湾で上映。2007 年、日中戦争の旧日本軍による性暴力被害者についての映画「ガイサンシーとその姉妹たち」を日本、中国、香港で上映。2006 年、書籍『ガイサンシー《蓋山西》とその姉妹たち』を出版。

## ジャン・ユンカーマン氏（John Junkerman）／映画監督

「劫火-ヒロシマからの旅-」（1988 年）で、米国アカデミー賞記録映画部門ノミネート、サンフランシスコ国際映画祭グランプリ。＜9.11＞後にノーム・チョムスキーにインタビューした「チョムスキー9.11」（2002 年）は世界十数カ国語に翻訳・劇場公開された。他に、「老人と海」（1990 年）、エミー賞受賞作「夢窓～庭との語らい」（1992 年）、「映画 日本国憲法」（2005 年）、など。

## 李纓（リ・イン）氏／映画監督

中国中央テレビ局（CCTV）ディレクターを経て 1989 年来日。1999 年「2H」で、ベルリン映画祭最優秀アジア賞、香港国際映画祭国際批評家連盟賞を受賞。「飛呀飛（フェイヤ フェイ）」（2001 年）、「味」（2003 年）、「モナリザ」（2006 年）、「靖国」（2007 年）が、ベルリン映画祭に招待される。「味」でマルセイユ国際映画祭エスペランス賞、「モナリザ」ではフランス・アミアン国際映画祭審査員大賞などを受賞。